

和歌三人一首

911.1

7

和歌三卷神

山城國
井出玉川

おとあく
あそろしん
山のち
井出の玉川



近江國

菟籠之玉川

つらもろの玉川の
あそろしん
あそろしん
あそろしん



攝津國

持衣玉川

あそろしん
あそろしん
あそろしん
あそろしん



武蔵國

調布玉川

あそろしん
あそろしん
あそろしん
あそろしん



陸奥國千鳥玉川

あそろしん
あそろしん
あそろしん
あそろしん



紀伊國

高野玉川

あそろしん
あそろしん
あそろしん
あそろしん



人養大の神
あそろしん
あそろしん
あそろしん

あそろしん
あそろしん
あそろしん
あそろしん

佐賀
大明神
あそろしん
あそろしん
あそろしん



紫式部
 源氏物語
 藤原の
 御物語
 藤原の
 御物語

藤原の
 御物語
 藤原の
 御物語
 藤原の
 御物語



天智天皇
 秋の田
 乃
 我
 つ



藤原

藤原
 藤原の
 御物語
 藤原の
 御物語

藤原
 藤原の
 御物語
 藤原の
 御物語

持統天皇
 春
 乃
 我
 つ

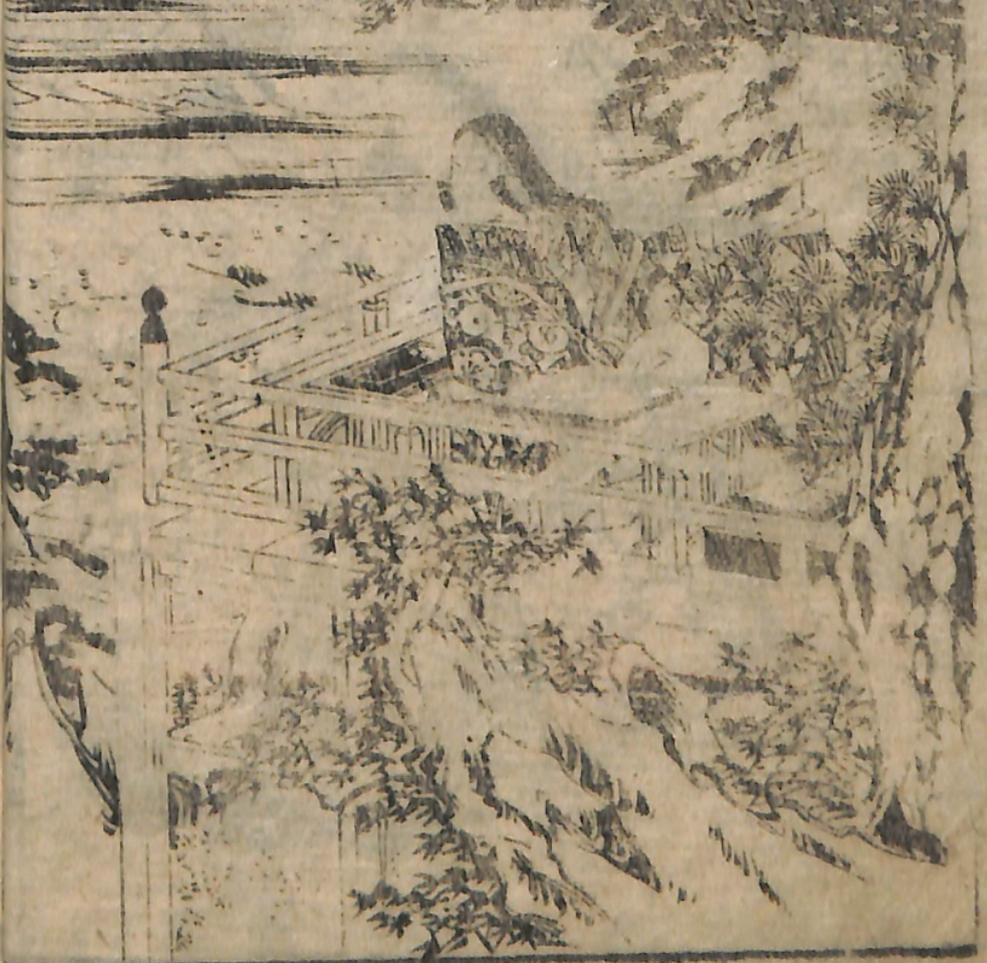




持統天皇
 春のて
 長
 何
 あまの
 山



春のて
 長
 何
 あまの
 山



春藤 菅

和国のさし

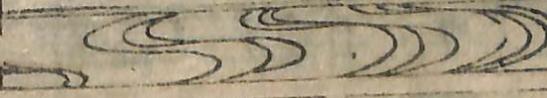
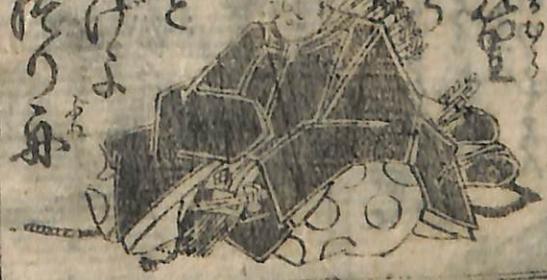
十活

うあ

と死あね

人共つげよ

あまのたのめ



三

春藤里

直まの
うまのし
まある



湯成院

はくねり

こまのり

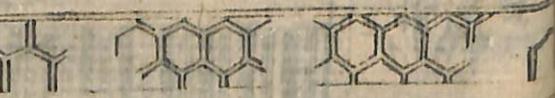
あつる

みまのり

あつる

あつる

あつる



三

あつる

あつる

あつる

あつる

あつる



三

復

あつる



僧正遍照

あつる

あつる

あつる

あつる

あつる

あつる

あつる



三

あつる

あつる

あつる

河原太

あつる

あつる

あつる

あつる

あつる

あつる

あつる



光孝天皇



我々の母は、

|||||

おねてのり
おねてのり
おねてのり
おねてのり

|||||

閑居
おねてのり
おねてのり
おねてのり

中納言行平



今更りてん

|||||

おねてのり
おねてのり
おねてのり
おねてのり

在座

多平

律代

きり

多平

おねてのり

おねてのり



|||||

強合

おねてのり
おねてのり
おねてのり
おねてのり



最良

佐のえ乃

おねてのり

おねてのり

おねてのり

おねてのり

おねてのり

おねてのり



伊勢

難波



ふしや

海防
以日とまある
とまかく
うもさうい
あひりよま



三

早稲
早稲あふる
早稲あふる
早稲あふる
早稲あふる

元良親王



此
あつむとまある

三

玉著
二つとるあひ
七つとるあひ
一つとるあひ
一つとるあひ

文在扇



あふ

あふ
あふ
あふ
あふ

三



今
今
今
今

今
今
今
今

今
今
今
今

今
今
今
今

あふ

あふ
あふ
あふ
あふ



大江千里



利

知事
生かすのちて
あつたかた
うらむまの



田

好
まあそめ
こてあてえん
まこころか
うきまのしん
うきまのしん

菅家



三浦良房



あふさ

あふさ

あふさ

あふさ

あふさ

あふさ

田



田

あふさ
あふさ
あふさ
あふさ



真信公

小倉山

あふさ

あふさ

あふさ

あふさ



あふさ

中納言 藤原 朝臣



無言
双り
まのけり
世あはれ
あはれ

元河内 朝臣



あはれ
おれ
あはれ
あはれ

三

所 華

あはれ
あはれ
あはれ
あはれ



三

野
あはれ
あはれ
あはれ



あはれ
あはれ
あはれ
あはれ

三

あはれ
あはれ
あはれ
あはれ



生 忠 公

有 徳 の つ れ

み 入



あはれ
あはれ
あはれ
あはれ



きん
糸織等

あさがお
をばく

志の

あまきと

あまのて

人あてひき



雨

山さしめ
あまのて
あまのて
あまのて



雨

あまのて
あまのて
あまのて
あまのて



平氣盛

あまのて

あまのて

あまのて

あまのて

あまのて



生虫忠見

あまのて

あまのて

あまのて

あまのて

あまのて

あまのて



雨

あまのて
あまのて
あまのて
あまのて



雨

あまのて
あまのて
あまのて
あまのて



清原元輔

あまのて

あまのて

あまのて

あまのて

あまのて

あまのて



中納言致忠



三

此の
あつて重の
あつてあ
あつてあ



三

中納言
あつてあ
あつてあ
あつてあ



あつてあ
あつてあ
あつてあ

藤徳公



あつてあ
あつてあ
あつてあ

三

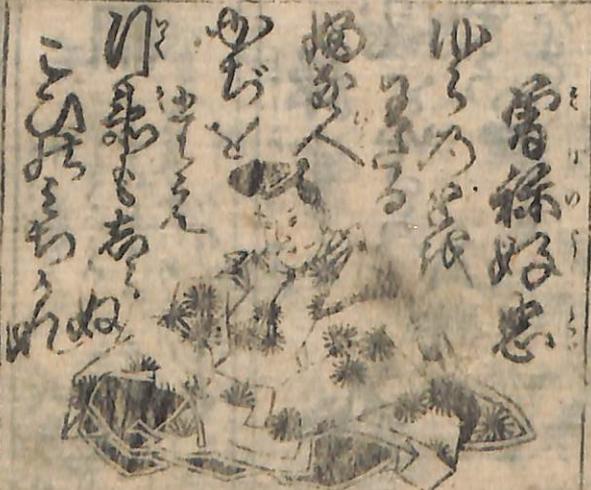
橋
あつてあ
あつてあ
あつてあ



三

あつてあ
あつてあ
あつてあ

曾孫好忠



あつてあ
あつてあ
あつてあ

あまのつゆ



三

あけすくすくあまの
あまのつゆ
あまのつゆ



三

あまのつゆ
あまのつゆ
あまのつゆ



三

あまのつゆ
あまのつゆ
あまのつゆ



あまのつゆ



三

あまのつゆ
あまのつゆ
あまのつゆ



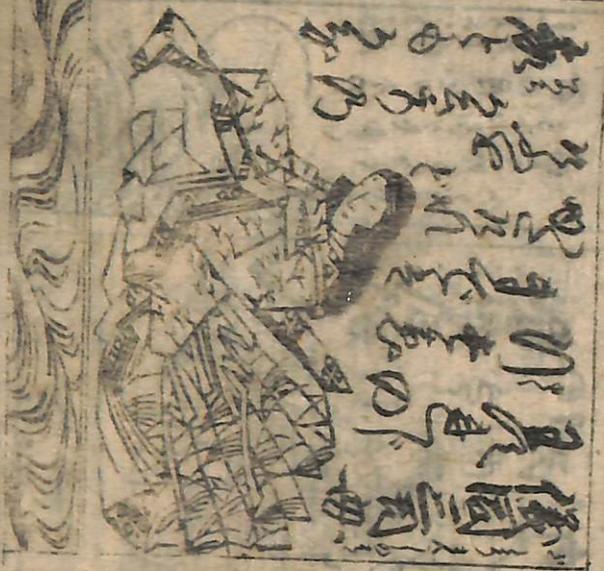
あまのつゆ



三
...
...



三
...
...



三
...
...



三
...
...

三

赤深草の



十二月之内
二月

あつたつた
ゆきゆき
あつたつた
ゆきゆき
あつたつた
ゆきゆき

律弊大補



十二月之内
四月

あつたつた
ゆきゆき
あつたつた
ゆきゆき
あつたつた
ゆきゆき



十二月之内
二月



十二月之内
五月

あつたつた
ゆきゆき
あつたつた
ゆきゆき
あつたつた
ゆきゆき

情お納言



大東家清藤

今ハ身ヲ
あひこし
たのん
たのり
人達てあて
りやういむがふ



十二月之内
六月

くわんせいのあまの
あまのあまのけり
あまのあまの

相模

うらうら
あまの
あまの
あまの
あまの
あまの



十二月之内
八月

あまのあまの
あまのあまの
あまのあまの
あまのあまの

十二月之内
七月

うらうら
あまのあまの
あまのあまの
あまのあまの

権中納言

川
うらうら
あまのあまの
あまのあまの
あまのあまの



九月

あまのあまの
あまのあまの
あまのあまの

前大納言

あまのあまの
あまのあまの
あまのあまの
あまのあまの
あまのあまの



そらうのあべ
月夜



十二月之内
十月
うきらりあきき
そらあがらつ
おののしそめ
うきらり

藤原法師



十二月之内



十二月之内
土月
いとせしめ
うきらり
おののあきき



三條院



大徳寺

おののあきき
うきらり
おののあきき



良選法師



大相公権信



六舟傳し内
小舟小舟
そま乃まのり
けりまのり
りるまのり



龍津約を道彦



どる
まのり
まのり
まのり
まのり
まのり

六舟傳し内
文原藤原

あくわのり
まのり
まのり
まのり
まのり



六舟傳し内
五葉葉承

まのり
まのり
まのり
まのり
まのり



すま
まのり
まのり
まのり
まのり
まのり

まのり
まのり
まのり
まのり
まのり



六舟傳し内
源信於於臣



まのり
まのり
まのり
まのり
まのり

藤原基俊

契如丸



六舟傳(門)
喜得流所
我(り)の(い)ふ(や)の(い)ふ
ふ(り)の(い)ふ(や)の(い)ふ



大(は)の(い)ふ(や)の(い)ふ

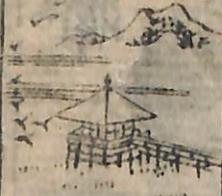
崇徳院



あ(ら)は(れ)の(い)ふ(や)の(い)ふ
あ(ら)は(れ)の(い)ふ(や)の(い)ふ

道(は)八景(の)内

豊(とよ)田(た)藤(ふじ)原(はら)
冬(ふゆ)の(い)ふ(や)の(い)ふ
こ(の)も(ち)の(い)ふ(や)の(い)ふ
あ(ら)は(れ)の(い)ふ(や)の(い)ふ
あ(ら)は(れ)の(い)ふ(や)の(い)ふ



大(は)の(い)ふ(や)の(い)ふ

道(は)八景(の)内
石(い)の(い)ふ(や)の(い)ふ
う(の)い)ふ(や)の(い)ふ
あ(ら)は(れ)の(い)ふ(や)の(い)ふ



藤(ふじ)原(はら)基(もと)俊(とよ)
和(わ)田(た)乃(の)の(い)ふ(や)の(い)ふ
こ(の)い)ふ(や)の(い)ふ
あ(ら)は(れ)の(い)ふ(や)の(い)ふ
久(く)の(い)ふ(や)の(い)ふ
あ(ら)は(れ)の(い)ふ(や)の(い)ふ



和(わ)田(た)乃(の)の(い)ふ(や)の(い)ふ
こ(の)い)ふ(や)の(い)ふ
あ(ら)は(れ)の(い)ふ(や)の(い)ふ
久(く)の(い)ふ(や)の(い)ふ
あ(ら)は(れ)の(い)ふ(や)の(い)ふ

道(は)八景(の)内
夫(と)の(い)ふ(や)の(い)ふ
あ(ら)は(れ)の(い)ふ(や)の(い)ふ
う(の)い)ふ(や)の(い)ふ
あ(ら)は(れ)の(い)ふ(や)の(い)ふ



藤(ふじ)原(はら)基(もと)俊(とよ)

淡(たん)路(ろ)橋(はし)



あ(ら)は(れ)の(い)ふ(や)の(い)ふ
あ(ら)は(れ)の(い)ふ(や)の(い)ふ
あ(ら)は(れ)の(い)ふ(や)の(い)ふ

大(は)の(い)ふ(や)の(い)ふ

さきやうのこころをいふ
丸末を歌淵

秋の来り
しるす

雲の文

海よ

それゆゑ

わけ乃さあ乃さ



並に八雲の月
は香春香
ゆきまを
のの字
指は



後徳をたて

あつた

たて

あつた

あつた

月をのこれ



並に八雲の月
勢田の
つるし
とくも
夕日のつるし
せきめ



あつた

あつた

あつた

あつた

あつた



並に八雲の月
罪障の
まを
つれ
あつた



道因法師

あつた

あつた

あつた

あつた

あつた



舟運法師

舟運法師

舟運法師

舟運法師

舟運法師

舟運法師

舟運法師



七か町の内
茶後洗中町
舟運法師



式子問親王

式子問親王

式子問親王

式子問親王

式子問親王

式子問親王

式子問親王



七か町の内

七か町の内

七か町の内

七か町の内
雨七小町



雨七小町

雨七小町

雨七小町

雨七小町

雨七小町

雨七小町

雨七小町

雨七小町



七か町の内



後京極坊政家右大臣

我をくま



家の子さき

七小町内
平教養小町
いづれか
そとに
あつた

孫倉右大臣

世帯へつひも

くもり

なまき

おま

はるせうかき



七小町内

平教養小町

いづれか
そとに
あつた



七小町内

いづれか
そとに
あつた

二條院後

我神

志和



いづれか
そとに
あつた



七小町内
平教養小町
いづれか
そとに
あつた

春儀権

みり

山のわき

あま

あま

あま

あま



龍太徳富園

花のあはれく
うき世乃
氏お
ね月ふ
わがあそまふ
墨乃め乃社



七郎女く因
周防内侍

ちかひのしむつら
うき世のうき世
うき世のうき世



梅中洲を喜ぶ

あぬをま
やねの
夕
あはれ
あはれ
あはれ



七郎女く因
赤井あつ

あはれをい
あはれをい
あはれをい



七郎女く因
馬田の
うき世のうき世
うき世のうき世
うき世のうき世



入道前太政大臣

花さそあはれ
うき世のうき世
うき世のうき世
うき世のうき世
うき世のうき世



七郎女く因
赤井あつ

あはれをい
あはれをい
あはれをい



正三位家隆

あはれをい
あはれをい
あはれをい
あはれをい
あはれをい



後鳥羽院

あがきあぐ
世成りよ放
のたのめ



七賢
後鳥羽院
あぐきあぐ
世成りよ放
のたのめ



七賢
天武三條

あぐきあぐ
世成りよ放
のたのめ

順徳院

あぐきあぐ
世成りよ放
のたのめ



錦繪地本類品々

於山百人一首 中本

所平極 志列

番附類新作本只々

豊嶋川 下月

菊屋 扶五郎

新彫刻板元

同

本屋 金之助

卷之五

卷之五

卷之五

卷之五